

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 88 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2021年10月29日（金）13：30～16：05

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員）高橋部会長，加藤副部会長，田村幹事，浅野，飯田，大間（審議案件途中出席），小松原，斎藤，坂下，佐々木，澤田，白井，高橋（秀），立川，林，藤田，元辻，柳原，山本（正）（19名）

（代理出席）鈴木 究（関西電力／片岡委員），中田 靖広（中部電力／久野委員），大畑 仁史（原子力安全推進協会／高橋（浩）委員）（3名）

（欠席委員）中島，山本（武），（2名）

（委員候補者）藤原 啓司（原子力環境整備促進・資金管理センター）（1名）

（常時参加者）浅見（1名）

（欠席常時参加者）川村（1名）

（オブザーバ）山田 悠介（日本エヌ・ユー・エス），熊谷 守（日本原燃）（2名）

（説明者）【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】梅原幹事，柏木委員，協委員

【LLW 埋設施設検査方法分科会】梅原幹事，斎藤常時参加者

【リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事

【LLW 放射能評価分科会】大畑幹事

【原子燃料サイクル専門部会】田村幹事（延べ8名）

（事務局）大沼，牧野（2名）

4. 配付資料

- FTC88-0 第 88 回原子燃料サイクル専門部会議事次第（案）
FTC88-1 第 87 回原子燃料サイクル専門部会議事録（案）
FTC88-2 人事について
FTC88-3-1 “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－”
公衆審査結果について
FTC88-3-2 “浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法－ドラム缶形態編－”
公衆審査で頂いたご意見の回答（案）
FTC88-4-1 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
標準の改定に係る中間報告概要説明資料
FTC88-4-2 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
の標準原案に関する中間報告（案）
FTC88-4-3 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
標準改定案
FTC88-4-4 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
参考資料－1_本文改定前後比較表
FTC88-4-5 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
参考資料－2_解説_改定前後比較表
FTC88-4-6 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
参考資料－3_附属書_見え消し有
FTC88-4-7 “低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX ー浅地中処分施設編ー”
の標準_別紙-2 標準委員会審議の役割，確認すべき事項等の説明

- FTC88-5-1 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”標準改定原案に関する転載許諾等への対応について
- FTC88-5-2 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”標準改定新旧比較表
- FTC88-5-3 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X”標準改定完本版
- FTC88-6 L1 放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応状況について（報告）
- FTC88-7 第1回 AESJ 埋設関連標準検討タスク 議事録（案）
- FTC88-8-1 原子燃料サイクル専門部会 標準策定5か年計画（2021年度版）
- FTC88-8-2 新知見の概要（原子燃料サイクル専門部会）
- FTC88-9-1 標準委員会審議細則
- FTC88-9-2 標準誤記載対応ガイドライン
- FTC88-10 分科会活動状況

参考資料

- FTC88-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC88-参考2 原子燃料サイクル専門部会出席実績

5 議事内容

事務局から開始時、委員24名中、21名が出席しており、成立に必要な定足数（16名以上）を満足している旨が報告された。なお、審議案件中1名が参加し、22名の参加となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC87-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事（FTC88-2）

事務局からFTC88-2に基づき、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、分科会の常時参加者登録解除が確認され、審議の結果、専門部会委員の選任等が決議された。

【専門部会】

1. 決議事項

(1) 委員選任

藤原 啓司 原子力環境整備促進・資金管理センター

【分科会】

○リサイクル燃料貯蔵分科会

1. 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

工藤 貴志 リサイクル燃料貯蔵 2021. 10. 31

○LLW放射能評価分科会

1. 承認決議事項

(1) 委員選任

脇 寿一 原子力環境整備促進・資金管理センター

2. 確認事項

(1) 常時参加者登録解除

脇 寿一 原子力環境整備促進・資金管理センター 2021. 10. 21

(3) 【報告・審議】 (FTC88-3-1, FTC88-3-2)

“浅地中ピット処分対象廃棄体の製作要件及び検査方法—ドラム缶形態編—” 公衆審査結果及び受け付けたご意見への対応について

(担当：事務局，LLW廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事，柏木委員，脇委員)

事務局からFTC88-3-1に基づき，題記標準に関する公衆審査の結果，1名の方からご意見があった旨が報告された。引き続きLLW廃棄体等製作・管理分科会 梅原幹事，柏木委員，脇委員からFTC88-3-2に基づき，ご意見の対応案について報告があり，審議の結果，次回標準委員会に報告することが決議された。なお，今回の修正は，編集上の修正ではないと考えられるため，標準委員会に諮った上で，再度，書面投票を行うこととなった。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：コメント No. 4 の回答に於いて，説明に使用している表と埋設群の表現を合わせた方が理解しやすいので，修正すること。

A：拝承。

(4) 【報告・審議】 (FTC88-4-1～FTC88-4-7)

“低レベル放射性廃棄物処分施設の施設検査方法：20XX 一浅地中処分施設編—” 標準原案に関する中間報告について

(担当：LLW 埋設施設検査方法分科会 高尾副主査，梅原幹事，斎藤常時参加者)

LLW 埋設施設検査方法分科会 梅原幹事，斎藤常時参加者から FTC88-4-1～FTC88-4-7 に基づき，題記標準原案に関する中間報告があり，審議の結果，30 日間の意見募集を行うこと及び次回標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：海外との整合性のところで，海外との比較は具体的に評価したりしているか。どの程度一致しているかといった確認はしたのか。

A：海外との比較について，施設検査の方法に該当するような海外の資料が無いため，そういった整合は確認していない。

C：海外の基準との比較というのは議論になるところなので，そういったことであれば記載を見直すこと。

Q：2016年に発行している覆土の厚さなどに関する標準との整合は問題ないか。

A：そちらの埋設後管理に関する標準とは，整合を確認しながら作成している。

Q：規制庁で発行しているガイドなどは参考にしているのか。また，原燃の内容は取り込まれているのか。

A：原燃にもレビューを受けており，本標準には細かい数値などは記載していないが，記載内容は整合が取れたものになっている。

(5) 【報告・審議】 (FTC88-5-1～FTC88-5-3)

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：202X” 標準改定原案に関する転載許諾及び事務局コメントへの対応について

(担当：リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事)

リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事から FTC88-5-1～FTC88-5-3 に基づき，題記標準の転載許諾等について説明があり，審議の結果，転載許諾等で変更された箇所は編集上の修正であること及び次回標準委員会に報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：何故転載図を削除する必要が生じたのか。

A：論文の出版社が現在存在せず，古い資料のため著者とのコンタクトも非常に困難なため。

(6) 【報告】 (FTC88-6)

L1放射能評価標準の原子力規制庁による技術評価への対応状況について

(担当：LLW放射能評価分科会 大畑幹事)

LLW放射能評価分科会 大畑幹事からFTC88-6-5に基づき、題記対応状況について説明があり、引き続き確実に対応してゆく旨の報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C：規制庁からの数多くの説明依頼事項への回答作成に対応者は忙殺されており、本専門部会に対応状況をタイムリーに報告できていないが、学会として必要な確認は行いながら対応しているところ。(部会長)

(7) 【報告】 (FTC88-7)

第1回埋設関連標準検討タスクの概要

(担当：原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事からFTC88-6に基づき、埋設関連標準検討タスクでの検討概要について報告があった。

(8) 【報告】 (FTC88-8-1, FTC88-8-2)

標準策定5か年計画の更新について

1. 標準策定5か年計画の工程表

2. 新知見の概要

(担当：原子燃料サイクル専門部会 田村幹事)

原子燃料サイクル専門部会 田村幹事からFTC88-8-1, FTC88-8-2に基づき、題記について説明があり、2022年度は、昨年度をベースにコロナ禍での会合・検討状況、標準のニーズ等を考慮し見直す旨の報告及び各分科会への更新要請があった。

(9) 【報告】 (FTC88-9-1, FTC88-9-2)

標準委員会審議細則、標準誤記載対応ガイドラインの改定について

(担当：事務局)

事務局からFTC88-9-1, FTC88-9-2に基づき“標準委員会審議細則”については、標準の正誤表の管理強化のため、“標準作成ガイドライン”については、標準の原稿(電子データ)の確実な管理ため改定し、前回の標準委員会(9月1日開催)で改定が承認された旨の報告があった。

(10) 【報告】 (FTC88-10)

原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況について

(担当：各分科会代表者等の関係者)

分科会の代表者からFTC88-10に基づき、分科会の活動状況についての報告があった。

6 その他

- ・次回は、2022年2月1日(火)13:30からの開催に決定した。

以上